

岩手県 FA キッズエリートプログラム 2020

盛岡スクール 最終回写真館

\*\*\*\*\*

開催期間：2020年7月26日～2021年3月21日 日曜日20回・交流会1回コース

会場：県営補助競技場、サンビレッジ紫波

主旨：キッズプログラムを通じ、サッカーと出会い好きになった子どもたちの発育発達にあった良い環境と適切な指導を行う事を目的とする。

主催：公益社団法人岩手県サッカー協会

参加者数：112名 \*冬場は、コロナ感染予防対策のため、一部時間短縮して実施

クラス 小学5年生クラス 22名 (活動時間 8:30～9:50)

年中クラス 4名 / 年長クラス 12名 (活動時間 8:50～9:40)

小学1年生クラス 22名 / 小学2年生クラス 23名 (活動時間 9:50～11:05)

小学3年生クラス 12名 / 小学4年生クラス 17名 (活動時間 11:15～12:35)

指導スタッフ：JFA 公認キッズインストラクター、JFA 公認キッズリーダーほか

平澤薫（盛岡スクール責任者）、日野杉武文、高田祥互、金澤祐紀、藤原信匡、松尾和久、川又健二、稲草寛子ほか

記念写真



小5クラスに参加した子どもたち



年中・年長クラスに参加した子どもたち



小1クラスに参加した子どもたち



小2クラスに参加した子どもたち



小3・小4クラスに参加した子どもたち

## 活動のようす



## 閉会式の様子



## ●保護者から寄せられた主な意見・感想

### <良かった点>

- ・コロナ禍の中、感染対策を講じて開催していただき感謝します。安心して参加することができ

ました。

- ・年齢に合わせて楽しみながら指導していただき本人も毎回楽しみにしています。
- ・サッカーの技術的なことがあまりできなくても喜んで参加できる内容なのでありがたかったです。
- ・コロナで体を動かす機会が減る中、このプログラムは貴重でした。
- ・来年度は参加しませんが、本人の希望でさらにサッカーを続けたいと話しています。こちらでの活動のおかげでだと思っています。楽しみながら心身成長できました。
- ・日帰りでしたが、合宿（ウインターキャンプ）も実施していただきとても良かったです。
- ・岩泉キャンプは、サッカー以外の思い出もたくさんできたようです。
- ・雨天等で中止になった分も日程調整して開催していただき活動の機会を確保できました。
- ・子どもたちが楽しそうに活動できたのでよかったです。
- ・コーチの雰囲気づくりが上手でした。また声掛けや説明が理解しやすかったです。
- ・月2回の活動で、参加しやすいと思い参加しました。
- ・小学5年生のクラスができて、より専門的な練習が増えて、楽しみながら取り組んでいるようにみえました。
- ・コーチの皆さんみたいに、子どもへ前向きな声かけをたくさんしていきたいと思います。
- ・同じベクトル方針をもったコーチの方々が指導してくださり、ぜいたくなとても良いサッカー環境だったと思います。

#### **<活動を通じてお子さんの変化がみられた点>**

- ・継続する中で、昨年度より積極的に動けるようになりました。
- ・サッカーに対して興味がわいたようです。
- ・子どもが他の子と積極的にコミュニケーションをとる姿をみて、サッカーを通して心の成長が感じられました。
- ・家でも練習することが増えました。親子でサッカーすることもあります。
- ・活動時間が早くなり、休みの日もだらだらしないで、早起きし自分の物も準備するようになりました。
- ・みんなでコロナ対策をすることを意識すれば、やれることもあり、あきらめない心をもつことができましたと思います。
- ・少しずつ体力も向上し、考えてパス、動くことができたと思います。
- ・自立心が芽生えてきました。
- ・活動を通し別の学校の子とも仲良くなれました。
- ・考える力、周りを見る力がついてきました。
- ・後片付けを積極的に行うようになりました。
- ・点がとれなかったり、負けると本人はとても悔しがるようになり、うまくなりたい、勝ちたいという気持ちが強くなってきています。きつとうまくなると感じています。

#### **<要望や改善してほしい点>**

- ・限られた練習機会と、いろいろな学校から集まってきたメンバーなので、子ども同士の「声」がけが少ないように感じます。初期の段階で、コミュニケーションをもっととれて声をだせるような関係性があればもっと良いと思います。
- ・アンケートもスマホで、できるようにした方が良いと思います。
- ・上手い子はずっとボールを持つので、そうでない子の対応ももっとしてほしいです。
- ・小学1・2年生の年代も、もう少しお友だちをつくるようなメニューがあれば良かったです。

知っている人がいないので、参加したくないということがありました。

- ・小学5、6年生でも、ぜひ対外試合を計画して、試合での戦い方を教えてほしいです。
- ・開催の可否連絡について、HPだけでなくSNSなども活用してみたらどうでしょうか？
- ・日程変更の連絡をもう少し早く連絡していただけると助かります。
- ・ゲーム形式のメニューは、個々のレベルに合わせてグルーピングした方が良いと思いました。スキルが未熟な子はなかなかボールに触れないが、本来はそのような子こそたくさんボールに触って、サッカーの楽しさを体感してほしいと思います。
- ・「キッズエリートプログラム」は、サッカーの普及や楽しさをしってもらう主旨だと思うので、個人的には「エリート」はマッチしない表現だと思います。
- ・岩手のサッカーが盛り上がってほしいです。チームにいれると勝負だけになりそうで、まずは楽しんで上を目指してもらいたいです。
- ・参加者レベルにかなりのばらつきがあり、未経験者には向かない内容だと思いました。「止める」「蹴る」「動かす」という基本的な練習をしてほしかったです。子どもはサッカーが難しいということが、印象として残ったようです。

#### 【活動を終えて】

今年度の岩手県サッカー協会キッズエリートプログラム盛岡スクールも3月21日の活動で最終日を終わりました。今年度は特にコロナ感染症の影響もあり年度初めには、もしかすると開催できるかどうか難しい状況と考えられておりましたが何とか7月からの活動開始することが出来ました。今回も当スクールに参加をいただきました子供達、保護者の皆様にも日頃からご協力いただきましたことを心から感謝いたします。また、今年はコロナ感染対策にもご理解いただき例年通りに参加いただいたことにも合わせて感謝いたします。フェスティバルなど対外試合の機会はほとんどありませんでしたが今年度も21回の練習を開催する事ができました。本当に有難うございます。

また今年度は新しく小5クラスを新設いたしましたが、ほぼ昨年度から継続して参加いただきました。以前より参加者の方々からの強い要望と今後もサッカーを続けてほしい想いも感じております。2021年度はさらに小6クラスまで活動を広げていきますので宜しくお願いいたします。

全クラスとも、いつも積極的に参加いただき、好きなサッカーに取り組む子供達の姿勢は素晴らしいと感じました。このスクールを通じて明るく楽しく、また友達と協力試合時には頑張る事、また普段からあいさつ、話を聞く姿勢、片付けなども含めてなどもサッカーの練習と合わせて伝えてきましたが、子供達自身が回数を重ねて自分から進んで物事に取り組んでおり良かったと感じております。またこれからも積極的にサッカーや運動に取り組んで学んでほしいとも思います。

新年度も何卒、宜しくお願い申し上げます。

盛岡スクール責任者 平澤薫コーチ

【編集】事務局 蝦名